

採点表（工事監理）

業務名：

（監督員）

評価項目		評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目
専門技術力	目的と内容の理解	当該業務主旨の理解	6	評価細目チェック数@ 0 →「0.2」@ 1→「0.4」 @ 2→「0.6」@ 3→「 0.8」@ 4→「1.0」		<p>当該業務の目的、内容が理解されていた。</p> <p>業務計画書に記載された内容を的確に理解していた。</p> <p>業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。</p> <p>提出資料等に当該業務の特徴、注意すべき事項などが適切に記述されていた。（担当路線・河川等の地域特性など）</p>
		小計	6			
専門技術力	的確な履行	法令・技術基準の知識	12	評価細目チェック数@ 0 →「0.2」@ 1→「0.4」 @ 2→「0.6」@ 3→「 0.8」@ 4→「1.0」		<p>業務に必要な法律・政令・通達等が十分に理解されていた。</p> <p>業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。</p> <p>特記仕様書等に示された当該業務固有の条件が十分に理解されていた。</p> <p>業務上必要となる、図面及び技術的資料について留意すべき、専門的知識を十分有していた。</p>
		業務内容についての判断	12	評価細目チェック数@ 0 →「0.2」@ 1→「0.4」 @ 2→「0.6」@ 3→「 0.7」@ 4→「0.8」@ 5→「1.0」		<p>業務着手時点において、業務に必要な資料等が整備されていた。</p> <p>業務遂行段階で、業務に必要な資料収集がなされていた。</p> <p>業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。</p> <p>業務遂行段階において、発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。</p> <p>業務（現場）で発生した諸問題に対して十分対応できる能力を有していた。</p>
		関係者とのコミュニケーション	12	評価細目チェック数@ 0 →「0.2」@ 1→「0.4」 @ 2→「0.6」@ 3→「 0.8」@ 4→「1.0」		<p>日々の業務内容を監督員に報告するなど常に連絡を密にしていた。</p> <p>緊急性のあるもの、ないものとの判断が適切に行われ、監督員に分かりやすく伝えられた。</p> <p>現場での問題点などを迅速に監督員に伝え、問題解決に繋がる提案をした。</p> <p>関係者（工事請負業者等）との対話を心がけ、トラブルがなかった。</p>
		小計	36			
専門技術力	業務目的の達成度	必要事項の記載	12	評価細目チェック数@ 0 →「0.2」@ 1→「0.4」 @ 2→「0.6」@ 3→「 0.8」@ 4→「1.0」		<p>契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。</p> <p>監督員からの指示事項が、漏れなく実施された。</p> <p>業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。</p> <p>高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し十分な業務成果が得られた。</p>
		業務に求められる的確な取りまとめ	6	評価細目チェック数@ 0 →「0.2」@ 1→「0.4」 @ 2→「0.6」@ 3→「 0.8」@ 4→「1.0」		<p>業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。</p> <p>業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。</p> <p>業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。</p> <p>業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。</p>
		小計	18			
管理技術力	業務実施体制の的確性	業務実施体制の的確性	12	評価細目チェック数@ 0 →「0.2」@ 1→「0.4」 @ 2→「0.6」@ 3→「 0.8」@ 4→「1.0」		<p>業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されていた。</p> <p>当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されていた。</p> <p>業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が適切に履行された。</p> <p>履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。</p>
		小計	12			
管理技術力	打合せ内容の理解	発注者との打ち合わせ	6	評価細目チェック数@ 0 →「0.2」@ 1→「0.6」 @ 2→「1.0」		<p>打合せ記録が適切に整理され、遅滞なく作成されていた。</p> <p>受注者内の意思疎通が正確で、指示や打ち合わせ事項が的確に業務に反映された。</p>

採点表（工事監理）

業務名：

（監督員）

評価項目	評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目	
	小計	6				
管理技術力	指揮系統の迅速性、 確実性	情報伝達の基本	14	評価細目チェック数 @ 0 →「0.2」@ 1→「0.4」 @ 2→「0.6」@ 3→「 0.7」@ 4→「0.8」@ 5→「1.0」		関係者間の情報伝達が遅滞なく、確実に交わされていた。
						情報伝達の誤認等による問題が発生しなかった。
					当該業務に関する社内の情報伝達内容が書類により記録されていた。	
					問題が発生した場合のバックアップ体制が確立していた。又は、対応が迅速に行われた。	
					担当技術者への技術的関与が的確であった。	
	小計	14				
取組姿勢	責任感、積極性、発注者側の視点	責任感、積極性、発注者側の視点	8	評価細目チェック数 @ 0 →「0.2」@ 1→「0.4」 @ 2→「0.6」@ 3→「 0.7」@ 4→「0.8」@ 5→「1.0」		管理技術者、担当技術者として、無責任な姿勢は見られず、発注者を支援する立場としてふさわしい対応をとった。
						打合せにおいて、発注者側の視点から確認・解決すべき事項を見逃さなかった。
					業務遂行段階において不明な点が生じた場合は、発注者を支援する立場としてとて問い合わせや確認が迅速になされた。	
					発注者を支援する立場として、関係者に対する対応が適切であるとともに、必要な報告・調整が遅滞なく実施された。	
					業務の内容・精度を向上させる新たな取り組みが自主的になされた。	
	小計	8				

採点表（工事監理）

業務名：

（主任監督員）

評価項目	評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目	
管理技術力	指揮系統の迅速性、 確実性	指示系統の迅速性・確実性	14	右記評価項目の該当項目を総合的に判断して、「0.2」、「0.4」、「0.6」（基準点）、「0.8」、「1.0」を付与する。	指示系統の迅速性が確保されている。	
					指示系統が系統どおり確実に実施されている。	
					情報伝達の誤認等による問題が発生しなかった。	
					問題が発生した場合のバックアップ体制が確立していた。又は、対応が迅速に行われた。	
					関係者間の情報伝達が遅滞なく、確実に交わされていた。	
	小計	14				
取組姿勢	責任感、積極性、発注者側の視点	責任感、積極性、発注者側の視点	8	右記評価項目の該当項目を総合的に判断して、「0.2」、「0.4」、「0.6」（基準点）、「0.8」、「1.0」を付与する。	企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。	
					当該業務遂行にあたって、取組への積極性・責任感に対して評価できるものであった。	
					地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。	
					業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完了させた。	
					その他（理由：	
	小計	8				
業務執行に係る過失に伴う減点	業務遂行上の過失	業務遂行上の過失	0	評価細目チェック数1つ毎に3点減点	業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。	
					関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。	
					業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。	
					業務実施体制に問題があった。	
					その他（理由：	
					0	
	中立性・公平性に係る過失	中立性・公平性に係る過失	中立性・公平性に係る過失	0	評価細目チェック数1つ毎に3点減点（チェックは1つまで）	中立性・公平性に関して、第三者から苦情があり、受注者に帰する過失があった。
						その他（理由：
	守秘性に係る過失	守秘性に係る過失	守秘性に係る過失	0	評価細目チェック数1つ毎に3点減点（チェックは1つまで）	業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。
						その他（理由：
法令遵守	法令遵守	法令遵守	0	評価細目に該当すれば10点減点	入札参加停止1カ月超	
					0	
	小計	0				

採点表（工事監理）

業務名：

（検査担当）

評価項目		評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目
専門技術力	業務目的の達成度	業務に求められる的確な取りまとめ	6	評価細目チェック数@ 0 →「0.2」@ 1→「0.4」 @ 2→「0.6」@ 3→「 0.8」@ 4→「1.0」		業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。
						業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。
						業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。
						業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
		小計	6			
管理技術力	業務実施体制の的確性	業務実施体制の的確性	12	評価細目チェック数@ 0 →「0.2」@ 1→「0.4」 @ 2→「0.6」@ 3→「 0.8」@ 4→「1.0」		業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されていた。
						当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されていた。
						業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が適切に履行された。
						履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。
		小計	12			